

小委員会名	現場マネジメント情報化研究小委員会	
テーマ名	ICT を活用した理想的な現場像の研究	
①研究目的	「ICT を活用した理想的な現場像」をテーマに、現場が抱える諸問題に関して ICT を利用して解決（軽減）する方法を受注者側の立場で研究することを目的とする。	
②成果概要	<p>施工中の現場業務を分類し、各分類ごとに ICT による効率化の可能性と理想となる近未来像、及びそれに対する現状の問題点をまとめた。</p> <p>○中間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工程管理 各パーツ（工程・出来高・原価等）の管理は十分に行われているが、海外のプロジェクトに比べると、統合した管理が定着していないように思われる。日本の事情にあった総合管理ソフトが望まれる。 ・品質管理 IC タグや各種センサー、トータルステーション及びデジタルカメラ等の技術は日進月歩であり、従来の管理手法を根底から覆すような可能性も秘めている。このような技術の進歩に関心を持ち、今までの概念にとらわれない発想で管理の省力化を図っていく事が望まれる。 ・安全管理 画像データや GIS および三次元データの有効活用により、事前のシミュレーションや記録の自動化を図っていく事が望まれる。 ・労務や資機材の標準化 建設作業員 DB の統一化により、工事現場での労務管理の省力化が望まれる。 資機材 DB の統一化により、積算・施工中の管理・竣工検査への利用等が考えられる。 <p>●最終 (該当に●)</p>	
③研究期間 進捗度	<p>2009 年 4 月～2011 年 1 月（研究開始から 2 年目）</p> <p>○予定より進んでいる ●ほぼ予定どおり ○予定より遅れ気味（該当に●）</p>	
④研究体制	小委員長	原島 誠（飛島建設）
	副小委員長	清水 知子（JACIC）
	主要メンバー	<p>水野 孝（奥村組） 中村 司（清水建設）</p> <p>今西 一男（銭高組） 東 克明（大豊建設）</p> <p>宮本 勝則（J A C I C） 稲田 澄則（若築建設）</p> <p>吉原 理（オブザーバー：パシフィックコンサルタンツ）</p> <p>※三浦 泰夫（T I S） ※田中 雄一（フジタ）</p> <p>※中村 祥一（超次元空間情報技術）</p> <p>※：途中退会</p>
	小委員会委員数	11 名（最終 8 名） オブザーバー 1 名
⑤発表実績	なし	